

【分配金のお知らせ】

2014年12月22日
野村アセットマネジメント株式会社

「バンクローンファンド(為替ヘッジあり)2014-09」の
初回決算(2014年12月19日)の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「バンクローンファンド(為替ヘッジあり)2014-09」(以下、ファンドといいます。)の初回決算(2014年12月19日)の分配金についてご案内いたします。分配金については、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案し、以下の通り決定いたしました。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

分配金額	決算日の基準価額	決算日の基準価額 (分配金再投資)
40円	9,780円	9,820円

* 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

【分配の方針】

原則、毎年3月、6月、9月および12月の19日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

* ファンドは単位型投信であり、分配金に対する課税は、原則として、分配時の分配金の全額が対象となります。

* 分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

《分配金に関する留意点》

- ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、バンクローン等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。

【(ご参考)設定後のバンクローン市場について】

ファンド設定来のバンクローン市場は、当初安定的に推移したものの、12月以降軟調に推移しました。ファンド設定後のバンクローン市場は、バンクローンの新規発行が減少傾向となり需給が改善したことなどを受け、11月まで概ね底堅く推移しました。しかしながら、12月に入り、OPEC(石油輸出国機構)総会の減産見送りにより原油価格が急落し始めたことで、投資家のリスク回避的な動きが広まり同市場も下落しました。代表的なバンクローンの指数であるS&P/LSTAレバレッジド・ローン指数のリターンは12月19日時点でファンド設定日の9月29日と比較しマイナスのリターンとなりました。

【(ご参考)今後の運用方針】

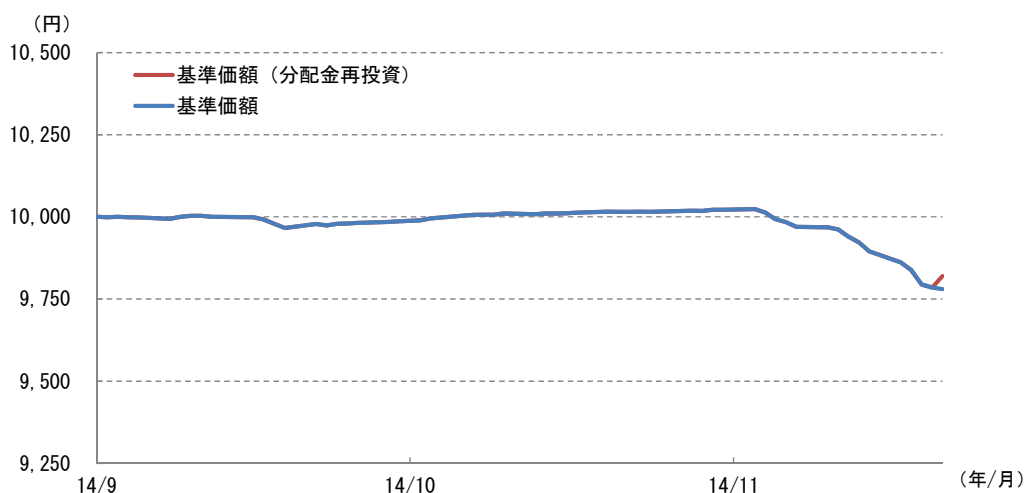
(以下の内容は予告なく変更する場合があります。)

バンクローンにつきましては、原油価格下落などに伴う投資家のリスク回避的な動きが見られればバンクローン市場も他のリスク資産同様に影響を受けることが予想されます。一方で、バンクローン市場全体で見ればその他債券資産と比べて石油関連セクターの割合が低いこともあり、影響は限定的との見方もあります。

ファンドでは、原油価格の先行きが不透明なことから同セクターを注視しつつ、他のセクターにつきましては良好な投資機会と捉えていますので、流動性や組入銘柄の信用力を考慮し、ボトムアップによる銘柄選択を行ないつつ、分散投資とトータルリターンの確保をより一層強化していく方針です。

基準価額の推移

(期間:2014年9月29日(設定日)～2014年12月19日、日次)



—上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。—

今後とも「バンクローンファンド(為替ヘッジあり)2014-09」をご愛顧賜りますよう宜しくお願いいたします。

以上